

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名		合志市各種大会等出場助成事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連		<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連		<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合 計画 体系	政策	3 教育の健康					所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司		
	施策	9 義務教育の充実					所属課	学校教育課	担当者名	齋田 咲子		
	施策の柱	34 体育の推進					所属班	学務指導班	(内線)	5325		
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	根拠	合志市部活動各種大会等出場補助金交付要綱		成果優先度評価結果	(⑫)	
終了、開始年度		一般	10	1	3	10669	法令			コス削減優先度評価結果	(⑥)	
		□ 29年度で終了 □ 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度 18 年度) ~ (年度)		
								<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	小中学生の全国大会等への参加者より、参加経費の一部補助の要望が高まり、小中学生のスポーツ活動、文化活動奨励の意味からも補助金を出すようになった。以前と比べて種々の大会が開催されており、本市からも県予選を通過しての参加者も増加している。平成22年度からは、要綱を改正し学校の部活動以外の担当窓口を企画財政課へ移行し、学校の部活動のみへの補助を実施する。 【事業の内容】児童生徒がスポーツ大会や文化活動を通して、心身ともに健やかな成長が図られるよう、小中学校の児童生徒で組織する団体又は個人が、県大会以上の大会等へ出場する場合に、大会等への出場に要する経費を助成する。
【業務の流れ】	申請受付、補助金交付決定、請求支払い事務、大会参加確認（実績報告）
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分 30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	29年度同様に実施する。
小中学校における部活動が体育連盟等が主催する各種大会において、県大会以上の大会等へ出場する場合に、大会等への出場に要する経費を助成した。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア 県大会以上の大会に参加する児童生徒数	(単位) 人 事業実績にあわせた予算減額
②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア 小中学校の児童生徒	(単位) 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ア 県大会以上の大会に参加する経費の一部を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減する。	(単位) % →イ ③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア 県大会以上の大会に参加し、補助を受けた児童生徒の率
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 県大会以上の大会に参加する児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア	人		240	115	140	206	140	140	140	140
② 対象指標	ア	人		6,198	6,365	6,520	6,516	6,686	6,820	6,960	7,105
③ 成果指標	ア	%		100	100	100	100	100	100	100	100
投 費 量	事 業	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他	千円								
		繰入金 一般財源	千円	1,709	618	3,000	1,947	2,000	3,000	3,000	3,000
		(A) 事業費計	千円	1,709	1,717	3,000	1,947	2,000	3,000	3,000	3,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正規職員従事人数	人		1	1	3	1	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間		500	400	200	320	200	200	200	200
	(B)人件費計	千円		1,856	0	796	1,265	796	796	796	796
	トータルコスト(A)+(B)	千円		3,565	1,717	3,796	3,212	2,796	3,796	3,796	3,796

事務事業名	合志市各種大会等出場助成事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (C H E C K)

* 原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【原因 ↗】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策 ↗】 制度の周知を行い、利活用しているため達成の見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒ 【理由 ↗】 全国大会での遠方への参加は保護者にとって多額の出費であり、成果を向上させるには、補助金額の引き上げることだか、市の財政状況を考慮すると現状維持又は補助金の縮小の方向にならざるを得ないので成果向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒ 【理由 ↗】 平成22年度から個人参加については企画財政課の類似する事業に統合したが、部活動の参加補助については、学校からの事務処理の便宜上同様にはできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 予算額が限られており、出場者の増加により、現在の経費（交通費・宿泊費・運搬費）の全額補助から半額補助への引き下げは検討する必要がある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 業務を遂行する時間分の人件費は必要最低限である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由 ↗】 県大会・全国大会等の出場者数は児童生徒の一部であるため、受益者負担も検討する必要がある。（旅費の何割等）
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由 ↗】 本市独自の補助事業であるため移行できない。

3 評価結果の総括 (C H E C K)

近年は文化部の大きな大会等への出場がないため、執行額が減少傾向である。各学校の部活動における活躍状況を確認しながら予算要求が必要。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止
- 休止
- 目的再設定
- 事業統廃合・連携
- 事業のやり方改善（有効性改善）
- 事業のやり方改善（効率性改善）
- 事業のやり方改善（公平性改善）
- 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

学校教育においての文化活動・スポーツ活動は様々な面において必要であり、今後も継続していく。

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

(3) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

必要経費に対して受益者負担の導入の検討。受益者負担については保護者の理解が必要である。